



「三重ぐるり」のコーナーでは、毎号テーマを設け、そのテーマに沿った三重県内の市民活動団体を紹介しています。今月号のテーマは「環境保全」。環境保全活動を行っている団体を県内の市民活動センターから紹介していただきました。

## 特定非営利活動法人 桑竹会

情報提供：みえきた市民活動センター

〒511-0903 桑名市大山田 6-7-59 ☎080-5128-6369 (西山) ✉mnishiyamajp@ybb.ne.jp



イベント「桑西・竹の十三夜」の風景

桑名地区の放置竹林を災害にも強く美しく整備し、里山環境を保全する活動をしています。竹の伐採、粉碎、搬出、竹炭づくり、筍掘り等々の竹林整備を毎月2回やっています。

「竹を愛する」イベントを一年を通じ開催しています。春は筍掘りとバーベキューを、収穫祭として開催。夏はNTN総合運動公園で親子向けの竹工作と流しそうめんを行い、毎年230人ぐらいの参加があります。秋は「竹の十三夜」2500個の竹灯籠の灯りの中で地元演奏家によるコンサートを開催。これには会場の隣にある桑名西高校の生徒も演奏者として参加しています。冬は門松づくりを開催しています。

また、さまざまな竹産物の有効活用もしています。

竹林整備：毎月第2・4土曜日  
9:00～12:00  
作業内容：竹の伐採、粉碎、搬出、竹炭づくり等

いい汗をかき、皆に喜ばれ、仲間と美しい里山づくりしませんか。  
竹を愛するイベントに参加しませんか。  
竹の有効利用の研究に参加しませんか。  
元気な年寄りたくさんいます。元気もらいませんか。

## ウミガメネットワーク

情報提供：市民ネットワークすずかのぶどう

☎090-5600-0221 ✉umigamenet@live.jp



※通常、夜間に産卵を行います

当会は、四日市市から津市までの海岸でウミガメの保護と海岸保全活動を行っている団体です。伊勢湾沿岸にウミガメが産卵にやってくる環境を、20年後30年後も残したいと考えています。

現在地球上に生息するウミガメの全種が、IUCN（国際自然保護連合）のレッドリストにその名前が載っている絶滅危惧種であるということです。

日本の本州で産卵する唯一の種であるアカウミガメは、伊勢湾沿岸でも産卵しますが、60年程前に比べると激減しています。自然環境の指標生物とも成りうるアカウミガメの生態や課題を知ることは、環境保全につながると考えます。

ウミガメの上陸跡を探したり、産卵調査をしたり、子ガメが砂から出てくるまで見守り活動をしたり、孵化率調査を行います。また、どなたでも参加できる環境学習会やウミガメ報告会をそれぞれ年1回行ったり、幼稚園や小学校等にウミガメ出前講座を行ったりして、ウミガメに関する広報活動や環境保全の啓発活動に努めています。

ウミガメや海岸保全に関して興味のある方は、電話でもメールでも結構ですので是非ご連絡ください。ウミガメの上陸跡を探すための浜歩きや産卵場所である海岸を守るための活動を一緒にしましょう。何でもお気軽にお問い合わせください。

当会は、入会金・年会費は無料です。ご入会いただければ、ウミガメや当会の活動案内等をメールで送らせていただきます。海岸清掃や浜歩き等、できることから始めてみませんか、ウミガメのために…

## ホットな阿漕浦ネットワーク

情報提供：津市市民活動センター

〒514-0027 三重県津市大門 7-15 センターパレス3階 津市市民活動センター内 津アイリス気付 ☎090-292-9669 (柏木はるみさん)



海岸清掃の様子

「ホットな阿漕浦ネットワーク」は平成 18 年 4 月 1 日に設立しました。団体名には、阿漕浦海岸が、みんなが集まる「ホット」な場、「ホット」する癒やしの場になるようにという願いが込められています。

発足のきっかけは、県の依頼で地元自治会や小中学校、市民団体等が集まって、阿漕浦海岸の堤防のいたずら書きを消す作業から始まりました。

当初は複数の団体がネットワークを組んで活動を行っていました。現在はネットワークの 1 つであった「津アイリス」のメンバーや、地元の有志が中心となって、毎月海岸のゴミ清掃を行っています（7 月より海岸清掃は毎月第 1 土曜日 8：00 ～に変更になりました）。

企業や自治体、他の市民団体、行政等とも連携して、みんなで阿漕浦海岸をきれいにし、たくさんの人が気持ちよく過ごせる海岸、人と環境の共生を目指して活動しています。

毎月第 1 土曜日 8：00 に交通公園に集合。雨天中止。ご参加お待ちしております！

阿漕浦をみんなが集まる“ホット”な場、“ホット”する癒やしの場にしたいです。毎月第 1 土曜日、どなたでもお気軽にご参加ください！

## 松阪ダンボールコンポストの会

情報提供：松阪市市民活動センター

〒515-0051 松阪市光町 25-10 ☎090-9916-8421 (代表・柴田さん) ✉nre04619@nifty.com



親子向け講座

現在、松阪市で 1 人が出す 1 日当たりのごみの量は約 916g。そのうち生ごみを含む燃えるゴミは約 80% を占めています。そんななか生ごみを堆肥化させることでごみ減量に取り組むのが「松阪ダンボールコンポストの会」です。ダンボールコンポストは、ピートモス・もみ殻くん炭などの資材を入れた段ボールに生ごみを入れて全体をかき混ぜることで、資材の中の微生物が生ごみを分解して有機肥料ができるもの。手軽に設置でき、発酵過程がないので臭いがほとんど発生しないのが特徴です。同会では、市民に対して資源のリサイクル意識を高めるために、講座による普及活動、ダンボールコンポストに必要な資材の提供（販売）を行っています。講座では、市、小学校、自治会などへ出向いて、堆肥化の仕組み、箱の組み方、資材の扱い方を、実習を交えて説明しています。また実際に取り組んでいる人へのフォローアップ講座や、希望者がいれば少人数でも堆肥化に関する相談やミニ講座にも出向いています。

市内 2 か所で、ダンボールコンポストの容器セット（400 円）、生ごみを分解するピートモス、もみ殻くん炭の資材セット（350 円）を販売しています。ダンボールコンポストを始めたい方はお気軽にご連絡ください。（個人でも OK）

個々の家庭はもちろん、最近では自治会などが地区単位で取り組む生ごみ堆肥化も推進しています。コミュニケーションの促進になり、有機肥料を共用花壇の肥料や作物の栽培などに活用することで、自主財源につなげることもできます。

## エコネット伊勢志摩

情報提供：いせ市民活動センター

〒516-0018 伊勢市黒瀬町 191 ☎0596-22-4738 ✉earth2@cameo.plala.or.jp



稲刈りを終えて

主として水環境の浄化を目指しての私たちの活動は、年間を通して農地からの薬品流出の抑制を訴え「私の田んぼ」での不耕起農法の実践が中心です。

不耕起農法は稲刈りの後、冬中田んぼに水を張っておきます。

多様な水中生物の糞や、稲の株はそのまま肥料となります。耕さないから汚水を流すことはなく、田んぼを囲む側溝の水には虫が生息し、シーズンともなれば 360 度虫の世界を楽しむことができます。

会員外や子どもたちを迎えて、一緒に田植えや草取り、刈取り、虫の鑑賞会…美しい環境を守ることを楽しみながら一緒に学んでいます。

並行して地域のイベント、学校の文化祭で啓発活動。各家庭の台所から出る汚染水の浄化活動への促進をはじめ、学校への出前講座として廃油石鹸・EM 団子づくりを通して子どもたちの環境意識の向上を目指してきました。

誰でも参加できます。上記へ連絡ください。

美しい自然を、未来に残すために地道な作業を、折々の季節を楽しみながら実践しています。「それ流さないで！～河川の浄化は家庭の台所・洗濯機から～」を市民に呼びかけています。